

## 令和2年度 1学期の学校評価について

令和2年9月4日

筑前町立東小田小学校

本校は、自校の教育の充実に向け、毎学期末に学校評価を下の手順で実施しています。

皆様にお渡しするこの資料は、下の④【公表】に当たるものです。

1学期末に皆様へのアンケート調査等で頂いた貴重な回答をまとめましたので、この資料により報告しますとともに、さらなる教育活動の充実に生かして参ります。

### 〔学校評価の手順〕

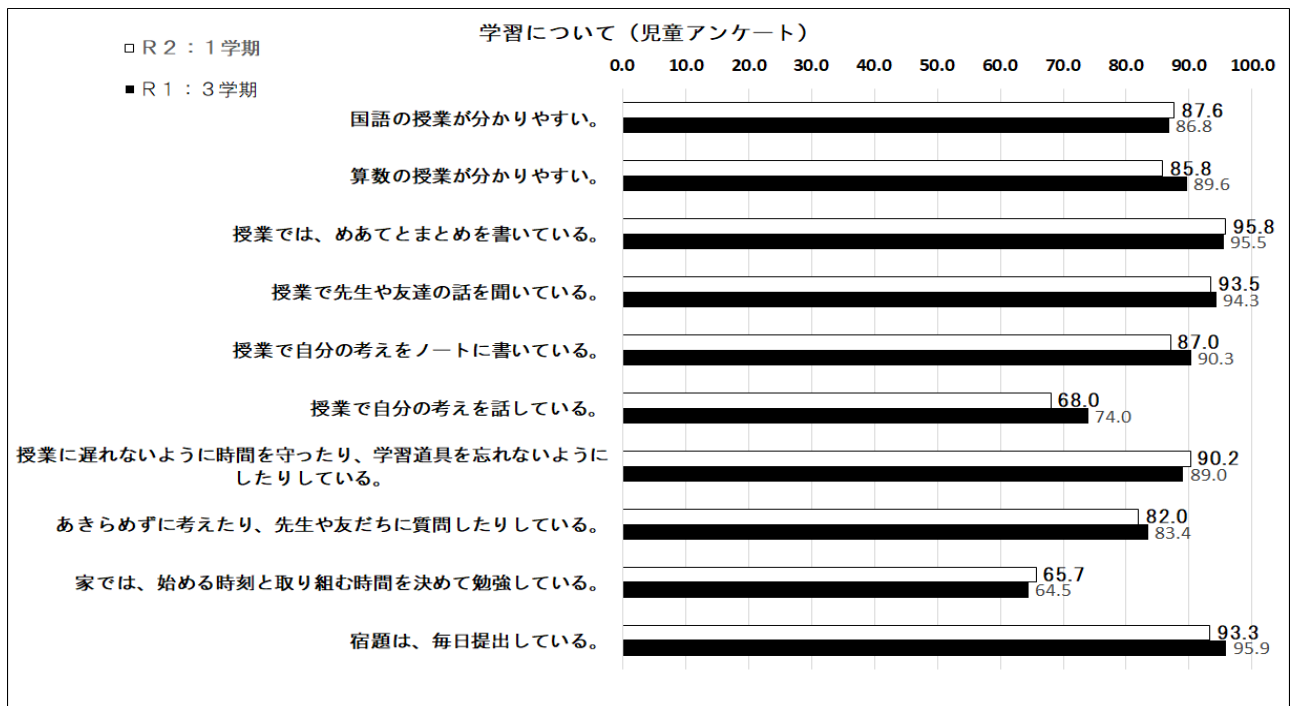
- ①【アンケート】児童・保護者を対象に学校教育に対する声を聴く。
- ②【評価】アンケート結果をもとに成果や課題をまとめる（自己評価）。
- ③【審議】自己評価結果を本校の学校運営協議会に説明し審議を受ける。
- ④【公表】審議を経た自己評価を保護者・地域に公表し、町教委に報告する。
- ⑤【改善】公表した自己評価に従って、学校の教育活動の改善を図る。

### グラフ、考察等の見方について

- 棒グラフ及び数値は、質問項目に対する肯定的な回答の割合（「1あてはまらない」「2あまりあてはまらない」「3あてはまる」「4とてもよくあてはまる」のうち3又は4を選択した児童の割合）を表しています。最大を100とします。
- 棒グラフの□の棒は本年度1学期の結果です。比較のため、昨年度3学期の割合（■の棒）も付記しています。考察の○は成果、●は課題として記載しています。

## 1 児童アンケートから（回答数：524名）

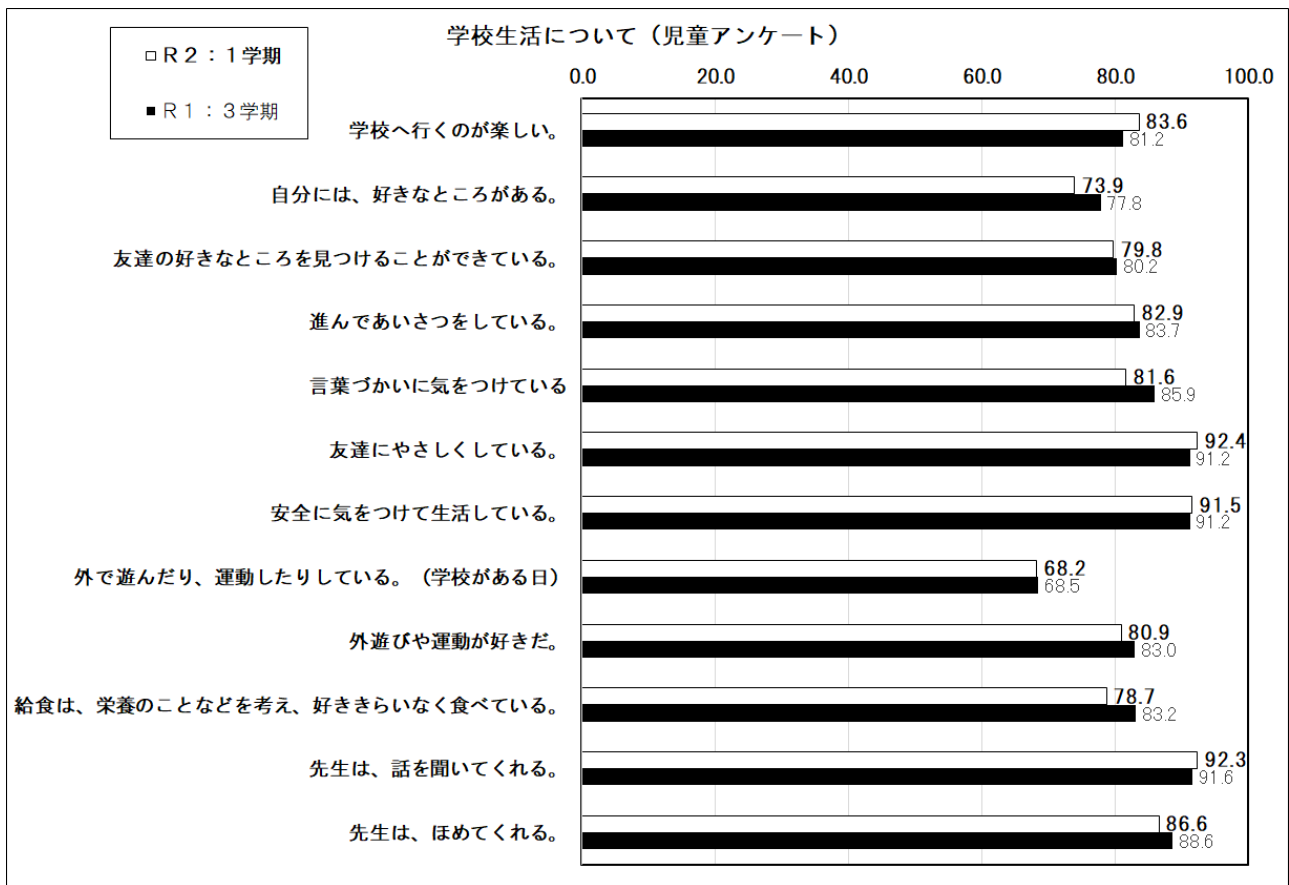
### （1）学習について



日常の授業や家庭学習についての回答は、全体的に昨年度3学期と同様の状況が見られます。

- 授業で「めあて・まとめ」「話を聞く」等の規律を身に付け学んでいる児童が多いと捉えます。
- 「授業に遅れない・学習道具を忘れないように」は、90%台まで伸び、授業を大事にしようとする意志を多くの子が持っているとして捉えます。
- 「算数の授業が分かりやすい」「自分の考えを書く」「自分の考えを話す」については昨年度よりも割合が若干下がっています。このことは、長期の臨時休校で授業時数に十分なゆとりがない中で授業に取り組んできた状況を反映していると考えます。8月いっぱい通常で1学期の学習内容を終え、9月からは例年どおりの2学期の授業に戻ります。今後、児童自らが考え、学び合ういわゆる「書く・話す活動」をできるだけ保障し、「できた・分かった」と実感できる授業に取り組んでいきたいと思ひます。家庭学習の習慣化も継続課題として取り組みます。

## (2) 学校生活について

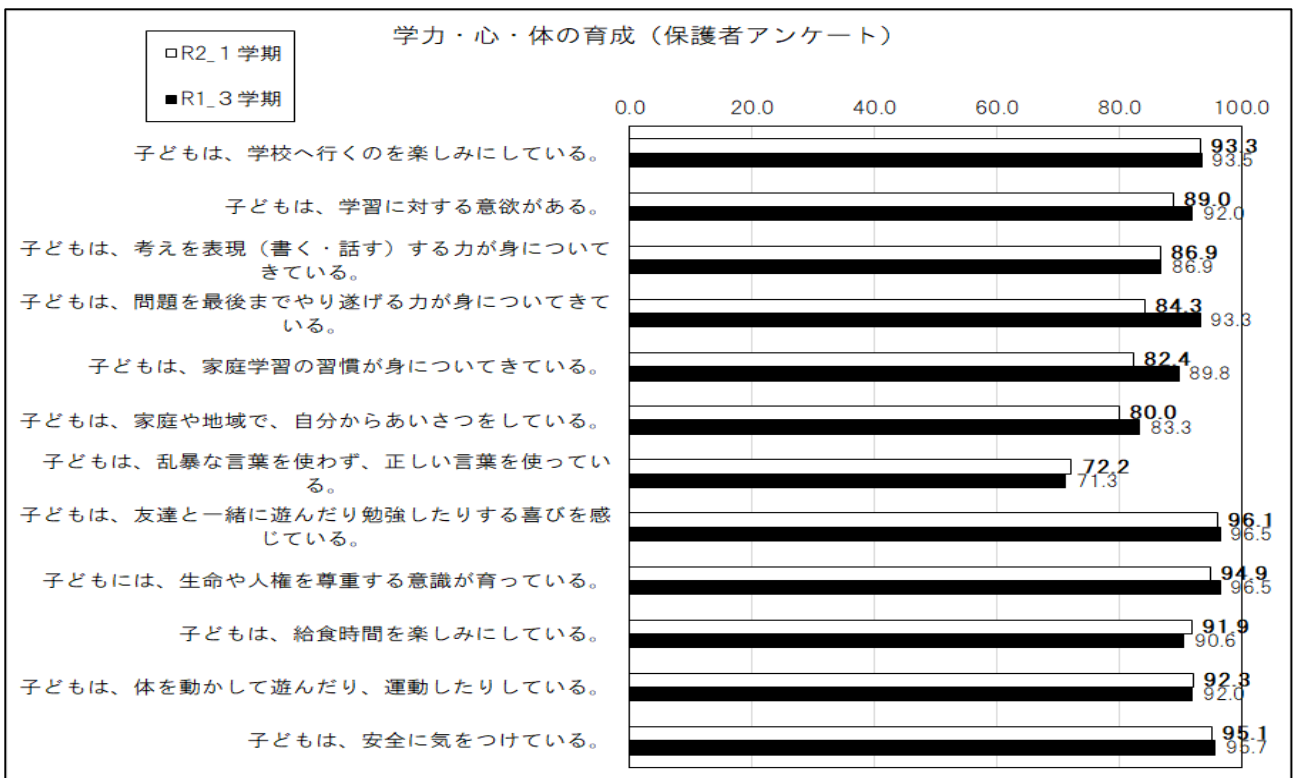


学校生活についての回答の多くも、昨年度3学期と同様の状況が見られます。

- 「学校へ行くのが楽しい」「友達に優しくしている」の伸びは、長い休校を経験した児童の素直な思いもあると考えます。否定的な回答の児童の思いも大切に見守っていききたいと思ひます。
- 「先生は話を聞いてくれる」が微増しました。傾聴・受容の姿勢は信頼関係の根幹です。今後も丁寧な児童理解に努めてまいりたいと思ひます。
- 「自分には好きなところがある」が若干低下しています。どの子もかけがえのない一人であることを実感できる授業や集団づくり、また学校や家庭での対話も大切にしたいと思ひます。
- 「言葉遣い」の定着には学校一体となって、例えば児童会によるマナー週間といった児童主体の取組等を工夫したいと思ひます。ご家庭での協力も引き続きよろしくお願ひします。

## 2 保護者アンケートから（回答数：のべ489名）

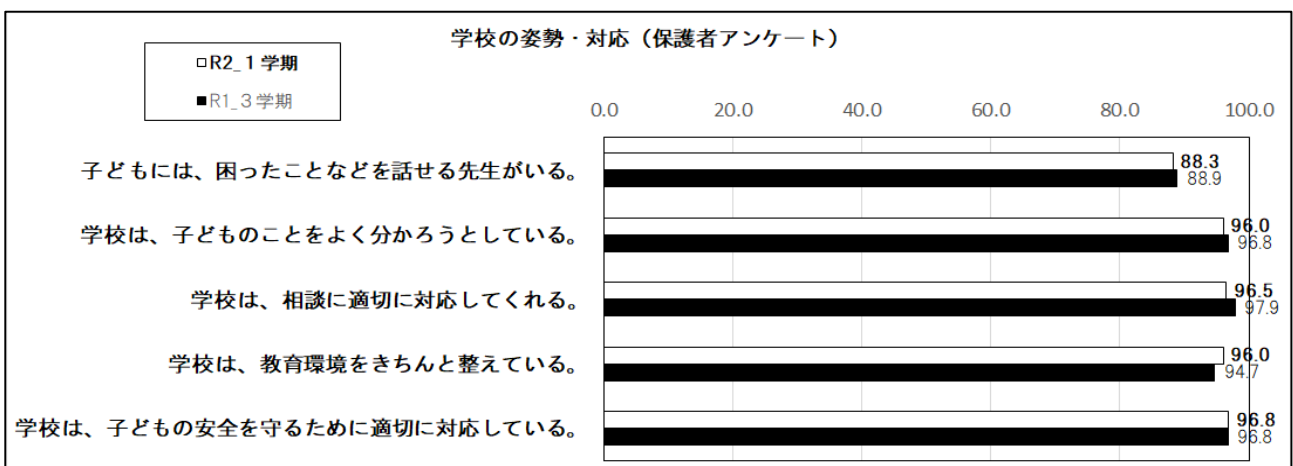
### （1）学力・心・体の育成について



保護者から見た児童の学力・心・体の育成については、少し厳しい評価となりました。

- 「問題を最後までやり遂げる力」「家庭学習の習慣」について割合が低下しました。長い休校期間は多くの児童が生活リズム等を崩しがちになったかと思います。家庭学習強化習慣等も生かすご家庭と連携して育てていきたいと思っています。
- 「正しい言葉遣い」は他の項目に比べ依然伸びづらい傾向です。児童の80%が「できている」の回答に比べ、保護者は約70%。児童の「言葉」への意識は意外と薄いのではと考えます。
- 「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」「友だちと一緒に遊んだり勉強したり」等については大変高い割合を示しています。今後も児童が安心して生き生きと学び遊ぶ学校づくりに努力して参ります。

### （2）学校の姿勢・対応について



○学校の姿勢、対応等についていずれも高い割合で評価して頂いています。今後とも保護者の皆様との信頼関係を構築し、児童が生き生きと学ぶ学校へ教育活動に励んで参ります。

### 3 学校運営協議会における審議から

上記のような調査結果をもとに、学校運営協議会（石井保幸会長、12名）において協議いただきました。頂いたご意見を以下のとおりまとめております。（○意見 ●改善意見 ◎成果）

#### （1）確かな学力の育成

○長期の臨時休校は児童の学力、心身の健康等に様々な影響を及ぼしたと思う。今後同様の事態発生に備え、オンライン授業の実施体制を整えて欲しい。

●感染症対策等で放課後学習など計画していた取組が充実・徹底出来なかったであろう。今後、児童にも職員にも無理のない取組を積みあげてもらいたい。

#### （2）豊かな心の育成

●保護者アンケートに児童アンケートの「自分の良さを知っている」「自分に好きなところがある」とリンクする項目が（保護者啓発の意味も含め）必要であろう。

●保護者アンケートで正しい言葉遣いについて出来ていないという回答が21名おられる。PTAとしてさらに皆さんに働きかけていく必要があるのではないか。

#### （3）健やかな体の育成

◎感染症拡大防止に向け学校がしっかり取り組んでいる。今回保護者による消毒ボランティア21名、また除草ボランティア11名、学習ボランティア5名の協力・学校支援はPTA・地域による素晴らしい動きだと思う。

#### （4）特別支援教育

○どの子ども安心して生活できる学校や授業づくりにこれからも取り組んでほしい。

#### （5）信頼される学校づくり

○子どもは「学校が楽しい」と答え、保護者は学校の教育環境に評価が高いのに、教職員は子ども・保護者・地域から信頼をあまり得られていないと感じている。先生方の自己評価は自然と厳しくなるのだろうが、自信をもって取り組んでほしい。応援している。

◎学級通信等からも、子ども達をよく見てもらっていることが分かる。

#### （6）学校の管理運営

○教職員が休日に出勤している姿を見るが（疲れやストレス等で）子ども達への指導に影響を及ぼさないか。休養等も十分とって欲しい。

### 4 まとめ

皆様、お忙しい中にアンケートにご協力頂き誠にありがとうございました。記述欄に頂いたご意見等には、ご本人宛に回答をお送りしております。本資料についてはホームページでも公表し、課題解決に努力して参ります。今後とも皆様のご理解とご協力をお願いします。